

17025 調査に必要とする書面の記載項目と様式（立会試験用）

17025 調査（立会試験用）について

立会試験場所の 17025 調査は、次の事項をポイントに JIS Q 17025 の該当項目に基づいて調査します。

- 1)立会試験における試験員の能力
- 2)使用計測機器類の日本産業規格類(標準書、要領書等を含む)への適合性、有効性（管理状態、測定トレーサビリティ）
- 3)その他関連事項

調査項目については、JIS 登録認証機関協議会発行の「JIS マーク表示制度に関する解釈集」共⑤「工場の試験部門において立会試験を実施する場合の JIS Q 17025 適合性調査及び不確かさの取扱いについて」を参照して下さい。

提出書面について

立会試験場所の 17025 調査は、ご提出書面の記載内容の確認及び JIS Q 17025 該当項目への適合性の確認を行います。

立会試験は 17025 調査が終了している試験員、計測機器類、試験場所等にて実施します。立会試験当日の不具合（要員の欠席、計測機器類の故障等）を想定し、予備の試験員や計測機器類を必要に応じて一部追加しておくことをお勧めします。

17025 調査が行われなかった試験員や計測機器類は立会試験で使用できなくなりますので、ご提出いただく書面には記載漏れのないようご注意ください。なお、立会試験当日に要員や計測機器類の代替使用、追加等が必要となった場合は、立会試験員が追加の 17025 調査を実施し、適合性を確認した上で試験を実施します。この調査に係る時間延長は追加費用の発生につながりますので、充分ご注意ください。

提出書面

- ・立会試験に係る技術的な責任者及び試験員（様式番号：8211-26A）
- ・要員の管理手順、設備・機器の管理手順（様式番号：8211-27A）
- ・試験方法が記載された試験業務規程等（様式番号：8211-28C）
- ・立会試験に使用する計測機器類（様式番号：8211-55A または-49A）
立会試験に使用する計測機器類は、一般用の記載方法①（様式番号 8211-55A）又はハイブリッド用
の記載方法②（様式番号 8211-49A）を参考に立会試験に使用する計測機器類の一覧表を記
載してください。
- ・立会試験実施場所（様式番号：8211-56）

[備考] 1. お申込みに関するお申込者の個人情報、試験・審査・認証等の業務に係る連絡、調整並びに当機構が実施しております他の業務のご案内や各種情報の提供に限り使用させていただきます。

立会試験に使用する計測機器類（一般用）（様式番号：8211-55A）の記載方法

記載要領①

No	項目	記載要領
1	分類	標準器類：外部校正、社内校正に使用した標準器を記載してください。 計測機器類：立会試験に使用する計測機器類を記載してください。 補助設備：計測機器類ではないが、計測に必要な設備を記載してください。例：定盤、治具等
2	No	「1. 分類」ごとに連番を記載してください。
3	日本産業規格	該当する日本産業規格の要求項目番号及び対応試験項目番号を記載してください。
4	引用される日本産業規格	引用される日本産業規格の要求項目番号及び対応試験項目番号を記載してください。
5	対応する計測機器類 No	標準器で内部校正された計測機器類の No. を記入してください。 例：外部校正したブロックゲージで校正したノギスがあれば、表中の左端欄の No. ※ 1つの標準器で複数の計測機器を校正する場合もあります。
6	試験名称	該当する JIS 規格の試験名称を記載してください。 例：引張試験
7	標準器の名称	計測機器類を内部で校正した標準器の名称を記載してください。 例：ブロックゲージ
8	計測機器類の名称	試験に使用する計測機器類の名称を記載してください。 例：ノギス
9	試験用設備類の名称	試験に使用する設備類の名称を記載してください。 例：めっき試験用ハンマー
10	型式、メーカー名、能力等	最大測定（/計測）能力と最小読み取り値等を記載してください。 例：(万能試験機) H Z 5 0 0、max 500 N、1 N
11	管理・識別番号	立会試験時に、調査済みの計測機器かどうかを確認します。管理番号又は識別番号を記載してください。
12	器物・製造番号	校正証明書等の確認のため器物・製造番号（計測機器類固有の番号）があれば記載してください。上欄の管理・識別番号で照合が可能であるか標記がない場合は「-」と記載してください。
13	校正/社校/点検	(外部委託) 校正、社内校正又は点検の別を記載してください。
14	周期	(外部委託) 校正/社内校正/点検の周期を記載してください。
15	直近の実施年月	直近の（外部委託）校正、社内校正又は点検日を記載してください。 提出後、立会試験日までに校正（点検）があった場合は、立会試験時にその旨お伝えください。
16	校正の合格基準	校正結果の受入基準を記載してください。 例：ノギスの場合 ±0.1 mm
17	外部委託機関名称等	外部委託校正先機関名称を記載してください。
18	備考	トレーサビリティを確認する情報として“JCSS/体系図”のどちらかを○などでチェックしてください。“JCSS”は JCSS 又は国際 ILAC-MRA 対応の校正機関（例：A2LA など）が発行する校正証明書、“体系図”はその他の校正証明書・体系図を含むもの。

[備考] 1. 別紙様式（様式番号：8211-55A）は日本産業規格ごとに作成して下さい。重複部分については、削除していただいて結構です。

立会試験に使用する計測機器類（レイミクストコンクリート用）（様式番号：8211-49A）の記載方法

記載要領②

No	項目	記載要領
1	試験方法	あらかじめ記載されています。
2	試験項目	あらかじめ記載されています。
3	計測機器類	あらかじめ記載されています。
4	型式、能力	型式がある場合は型式を記載してください。 能力は、JIS 要求事項及び JIS 試験内容を満足する計測機器類かどうかを確認します。計測機器類の最大測定（/計測）能力と最小読み取り値等を記載してください。 例：（エアメータ）AIR 5 0 0、max10%、0.1%
5	所有・借用の別	自社所有品と借用品では、管理方法が異なりますので、その別を記載してください。
6	識別（管理・器物番号）	立会試験時に、調査済みの計測機器かどうかを確認します。識別番号として、管理番号を記載してください。器物番号（計測機器類固有の番号）があれば併せて記載してください。
7	校正/点検	校正又は点検の別を記載してください。
8	校正（点検）先/内容	校正（点検）先とその内容を記載してください。 例：××校正センター/長さ 自社点検/突き棒の磨耗
9	直近の実施日	直近の校正（点検）日を記載してください。 提出後、立会試験日までに校正（点検）がある場合は、立会試験時にその旨お伝えください。
10	周期	校正（点検）の周期を記載してください。
11	証明書番号	校正を外部委託する場合又は社内校正において校正証明書が発行された場合、証明書番号を記載してください。校正証明書が発行されない場合は「-」と記載してください。
12	標準器類	試験に使用する計測機類を校正した標準器を記載してください。 例：ノギスの場合→ブロックゲージ
13	関連文書	トレーサビリティを確認する情報として JCSS 証明書 No. 又は体系図 No. を記載してください。

[備考] 1. 別紙様式（様式番号：8211-49A）は日本産業規格ごとに作成して下さい。重複部分については、削除していただいて結構です。

立会試験に係る技術的な責任者及び試験員

立会試験として実施するすべての試験項目を網羅するように記入ください。

項目	内容		JQA記載欄
(ふりがな) 氏名	(姓) 品質	(名) 良男	
生年月日	1967年10月28日		
所属部署	本社工場 製造部 検査課		
役職	主任（御社独自の役職名）		
雇用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 嘱託 <input type="checkbox"/> 契約社員 <input type="checkbox"/> 臨時雇用（アルバイト）		
担当職務	<input type="checkbox"/> 技術的責任者 <input checked="" type="checkbox"/> 試験員 社内呼称 （ 工程検査員、出荷検査員 ）		
立会試験及び類似の試験に係る実務経験	項目	期間	
	・外観、形状、寸法	2012.4.1 ～（現在）	
	・引張強さ	2012.4.1 ～ 2015.3.31	
	・化学成分分析	2012.4.1 ～（現在）	
教育・研修・訓練履歴	項目	期間	
	・金属材料試験実務講習修了（社内）	2012.2.1	
	・ISO/IEC17025 内部監査員養成コース修了	2017.7.1～2018.8.1	
	・確かさセミナー受講	2018.8.1	
資格（社内、社外）	・検査員（受入、工程及び出荷検査）等 添付。資格リスト参照		
該当立会試験項目	・外観、形状、寸法 ・引張強さ ・化学成分分析		

- [備考] 1. 1用紙につき1要員分を記載してください。立会試験の実施に際し、複数の要員を必要とする場合は、要員数分を作成し、提出してください。
2. 「雇用形態」欄は、該当するところをチェックしてください。
3. 「担当職務」欄は、技術的責任者、試験員等の該当するところにチェックし、社内での呼称を記入してください。
4. 「資格」欄は、立会試験の能力や、力量に関連するもののみを記入してください。
5. 「立会試験及び類似の試験に係る実務経験」、「教育・研修・訓練履歴」及び「資格」欄は、申込者の書式を添付しても結構です。

要員の管理手順、設備・機器の管理手順

①要員の管理手順

管理項目	社内規格で確認できる内容	該当する社内規格の名称	J Q A 記載欄
		社内規格の最新版情報 (版数又は制定・改定日)	
教育訓練要領	年間教育計画、教育メニュー、個人別教育実績などの実施要領を記述したもの	教育訓練手順書	
		改訂 1 版	
資格認定要領	資格認定基準、評価要領（方法、時期、継続条件など）、試験設備の使用権限などを記述したもの	資格認定手順書	
		改訂 3 版	
職務規定	組織上の職務、責任権限及び職務内容などを記述したもの	職務分掌規定	
		改訂 2 版	

②設備・機器の管理手順

管理項目	社内規格で確認できる内容	該当する社内規格の名称	J Q A 記載欄
		社内規格の最新版情報 (版数又は制定・改定日)	
機器・設備管理要領	機器・設備の分類方法、校正・点検等の管理内容（使用する標準器類、外部・内部の別、周期・期間、判定基準など）、管理標識の利用方法などを記述したもの	設備機器管理手順書	
		改訂 2 版	
		校正実施要領書	
		改訂 2 版	
機器・設備校正・点検手順	試験設備・機器の校正・点検手順を記述したもの	点検実施要領書	
		改訂 4 版	
		校正実施要領書	
不確かさ推定手順	内部校正の場合、校正の不確かさを記述したもの	改訂 2 版	
		点検実施要領書	
		改訂 4 版	
不確かさ推定手順	内部校正の場合、校正の不確かさを記述したもの	不確かさ推定手順書	
		初版	

[備考] 1. 記載欄が不足する場合は、行を足して、記入してください。

試験方法が記載された試験業務規程等

立会試験として実施するすべての試験項目を網羅するように記入ください。

試験方法が記載された文書のリスト

試験項目	日本産業規格の 番号—年度	試験方法が記載された 社内規格の名称	JQA 記載欄
	日本産業規格名称	社内規格の最新版情報 (版数又は制定・改定日)	
外観	JIS A 0000-2012 建築用〇〇〇材	外観検査指示書 (改訂 1 版)	
形状	JIS A 0000-2012 建築用〇〇〇材	形状検査指示書 (改訂 4 版)	
寸法	JIS A 0000-2012 建築用〇〇〇材	寸法検査指示書 (改訂 3 版)	
引張強さ	JIS Z 0000-2010 引張試験方法	引張試験指示書	
耐久性	JIS A 0000-2015 建築用〇〇〇材	耐久性試験指示書	
化学成分	JIS A 0000-2013 建築用〇〇〇材	化学成分試験指示書	

- [備考] 1. 上記の項目を満足する御社の書式に基づくリストがあれば、現時点での最新版の写しを別に提出して下さい。
2. 試験方法が他の日本産業規格から引用されている場合は、引用する日本産業規格の番号—年度及び名称を記入してください。

立会試験として実施するすべての試験項目を網羅するように記入ください。

立会試験実施場所

試験場所（試験室等）	試験名称 （該当する日本産業規格 の番号—試験項目番号）	試験環境 管理値等	J Q A 記載欄
本社工場 第1試験室	外観 JIS A 0000 - 4.	—	
本社工場 第1試験室	形状 JIS A 0000 - 5.	—	
本社工場 第1試験室	寸法 JIS A 0000 - 6.	—	
本社工場 第2試験室	引張強さ JIS Z 0000	室温 (23±5) °C	
本社工場 第3試験室	耐久性 JIS A 0000 - 10.	—	
本社工場 第4試験室	化学成分 JIS A 0000 - 11.	室温 15°C~25°C 相対湿度 (65±20) %	

[備考] 1. 試験環境管理値等は、温湿度等試験場所に係る環境要求事項に対して管理している状況や管理値を記入してください。